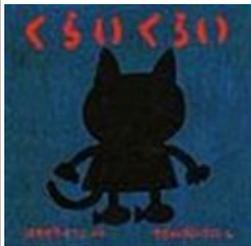


# 1歳児クラス 9月 第1回 「くらいくらい」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：絵本にハンカチなどを掛け「まっくらくらくら…」と登場。</li> <li>講：絵本を受け取り「これ被っているからだよ」と布を取り、表紙の影が誰なのかを子ども達に問いかけ「影」に興味を持たせてから、「電気を消してください」と言って消灯。「くらい くらい…」でお話に入る。</li> </ul> <p>※絵本の投影前にシアターのライトを使って手など影を映してお話の内容に興味を持たせてからはじめても良い。</p>	教材	
	<p>★絵本 ★iPad(シアターセット)</p>	<p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>絵本の提示</li> <li>子ども達と一緒に話を楽しむ</li> </ul>	
読み方	<p>①「暗い→見えない→(電気を)つける→明るい→見えた」を体感出来るように読み進める。</p> <p>②子ども達を巻き込み、影から誰なのかを推理しながら読み進める。(鳴き声などのヒントを出しても良い)</p> <p>③お話の最後は暗い保育室の中、講師が子ども達数人に触れながら「この頭は〇〇ちゃん？このお耳は〇〇ちゃん？」などと会話。「お部屋を明るくしようか…」と誘い掛けみんなで「電気をつけてちょうだい」とお願いして電気をつけてお話を終了する。</p>		

## がくしゅうタイム

活動①	知識	影の形の特徴から何の動物か想像する	実物参照
設問	この影は誰でしょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「いろんな影があって楽しかったね！」</li> <li>保：「♪まっくらくらくら くらーくらい 私はだーれだ？」と絵本同様に影の提示カードの1つを見せながら登場。(最初は「ウサギ」が解りやすくお薦め)</li> <li>講：カードを受け取り「絵本の続き見たいね…この形は誰かな？」と影の特徴的な部分(ウサギの耳など)に注目させて子ども達から言葉を引き出していく。</li> <li>子：部分の形から想像して考え、自由に意見を出していく。</li> <li>保：子どもと一緒に考えてクイズを楽しむ様に子どもから言葉を引き出し、発言を促していく。(時には発言出来ない子どもの代わりに代弁しても良い)</li> <li>講：ある程度意見が出たところで「正解は…(提示カードを引っ繰り返し)じゃーん！ピンポン！！ウサギさんでした！」と正解を確認していく。他のカードも同様にクイズ形式にして繰り返し楽しく進行。リズムよく3種を出題。称賛して終了する。</li> </ul>		<p>教材</p> <p>提示カード 3種 (両面印刷)</p> <p>保育士の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>影カードの提示</li> <li>子ども達と一緒に考えて考え、ことばを引き出す</li> <li>理解できない子のフォロー</li> <li>称賛</li> </ul>
活動②	形	同じ形を見つけてプリントにはめ込むことが出来る	
設問	黒い影と同じ形を見つけて上に置いてみましょう		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「先生！こんなのがありましたよ」と提示用の三種の形カードを提示。</li> <li>講：カードを受け取り○・△・□の形の名称を子ども達に問いかけながら確認する。 ※それぞれの形の特徴にも注目させて確認する。(つるつる・ちくちく・かくかく等キーワードと共に確認すると理解しやすい)</li> <li>保：提示用プリントを見せながら「ガタンガタン…駅！駅！〇〇保育園駅です」と登場しプリントを講師に手渡す。</li> <li>講：プリントを受け取り「これは何？(汽車)」と名称確認。「あれ？ここにも『くらい-くらい』があるね」と黒い影の形の部分に注目させ「あれ？何かの形に似てるね」と黒い影とカードの形が似ていることを子ども達に気付かせて確認する。「ピタンコして素敵な汽車にしてあげよう」と子ども達を巻き込みながら見本行動。「くるくるくるくるピタンコ」をキーワードにして黒い影の上に形を置き</li> </ul>		<p>教材</p> <p>P1 ○△□カード 一人各 (弱両面テープ付) 1枚 提示用拡大プリント&amp; ○△□カード (弱両面テープ付き) 皿(テープゴミ用)</p>

<p>貼って絵を完成させる。</p> <p>※提示用には貼り直し可能な弱両面テープが付いています。途中間違え行動を入れながら、子ども達に「違う違う」と言わせることで子ども達の興味・理解度、完成への意識が高まります。</p> <p>・保：「まだまだ汽車ありますよ。今日はおはじき2個と交換です」と提示。</p> <p>数にチャレンジ ・講：「先生もやってみるね。みんなも一緒に数えてね」と見本提示。「いち・に」右手、左手それぞれ1つずつおはじきを取り「全部で2」と両手のおはじきを見せる。</p> <p>「みんなもやってみる？ やりたい人、はい！」と意欲と興味を引き出してから子どもの活動に移行する。</p> <p>※プリントはおはじきとカードが交換できた子から「ガタンガタン」と動かしながら楽しく配布する。</p> <p>・子：おはじきとカードを交換後、プリントを受け取り、形の特徴を捉えながら見本同様に汽車を完成させていく。(テープのゴミは皿の中)</p> <p>・講：完成した汽車を見せ合い♪音楽に合わせて汽車を走らせて称賛。 「汽車は車庫に入ります。ガタンガタン…」と楽しく回収して終了。</p>	保育士の役割
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・形カード提示</li> <li>・提示プリント提示</li> <li>・配布プリント提示</li> <li>・2個のおはじきと交換で形カード配布</li> <li>・楽しくプリント配布</li> <li>・理解できない子のフォロー</li> <li>・エレピ演奏</li> <li>・称賛</li> <li>・プリント回収</li> </ul>

数チャレ	数	多数の中からおはじきを「2個」取る	教材
設問	おはじきを「2個」取って○△□カードと交換しましょう		
内	※今回は<活動②>の中で実施します。		保育士の役割

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	「電気を点けてちょうだい」と子ども達と言いながら参加型で読み進めたか
活動① 知識	子どもが楽しく参加出来るよう、称賛行動もしっかり行ったか
活動② 形	形の特徴を感覚行動を通して提示したか
数チャレ	活動②に含む

楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・変化\*\*\*

影遊び

<楽しみ方>

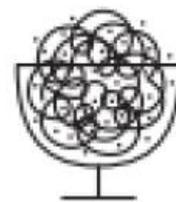
- ・室内では懐中電灯や室内灯の明かりを使って、「影」を映し「影」の面白さを存分に楽しんでみましょう。特に光源に近づいたり離れたりして大きさが変わることが理解できるようになると「怪獣遊び」などに発展させて盛り上がりますよ。
- ・屋外では散歩の途中や公園などで太陽の光を受けてできた様々な黒い影に気付かせてあげると良いでしょう。



「影」の存在を知り、その面白さに気付くと暗闇も楽しくなるかも知れませんね!

今月のえかきリズム

\*\*\* かきこおり\*\*\*



えかきリズムの動画はこちら



楽習タイムの動画はこちら

